



松崎 良太「富士山の朝」日本画 F4号

## 長崎県の郷土画家を紹介する 冬季企画展を開催中

冠雪した富士山が朝焼けに染まりゆく情景を描いた松崎良太の「富士山の朝」は、小品ながらも、雄大で美しい山容を描き留めています。刻々と移り変わる空の様相は、富士山を境に緑がかった淡い青と鮮烈な橙の対比で印象深く、紫色を基調とした山肌に棚引く雲には雲母が散りばめられて、澄み渡った空気が感じられるようです。

現在開催中の冬季企画展「郷土画家展」では、本作をはじめ、長崎の春の風物詩であるハタ揚げを題材とした清水崑の「ハタ幻想」や、古き良き長崎を描き伝えた田川憲の「長崎の庭(迎陽亭)」など、11名の画家による油彩画、日本画、水彩画、版画、全13点をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。また、陶磁器展示室2では陶磁器小企画「古伊万里展」を3月2日(土)まで開催しております。あわせてご鑑賞くださいませ。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

松崎 良太(まつざき・りょうた):1939～。長崎県佐世保市生まれ。京都学芸大学(現、京都教育大学)特修美術日本画科卒業、同大美術・工芸専攻科修了。在学中に日展初入選を果たし、その後も入選、特選を重ねたほか、崇城大学芸術学部長を務めた。

## 十八親和アートギャラリー

【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4) ※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

鑑賞  
無料



# 郷土画家展

冬季企画展

Juhachi-Shinwa Art Gallery Winter Exhibition

2024年

3/2

(土)

まで